

# 宮下公美子様

御発言配付資料

〔発言テーマ〕

住民が輝く地域づくり

2017.8. 9 (仮称)岐阜市未来ビジョン 第1回有識者会議

# 住民が輝く 地域づくり

介護福祉ライター・臨床心理士・社会福祉士  
宮下公美子

## 自己紹介

- 介護福祉ライター： 高齢者介護、認知症、**地域づくり**、ケアマネジャー
- 社会福祉士として： 介護保険認定調査員、公法人の介護保険サービス苦情相談員、**成年後見人**
- 臨床心理士として： 特別養護老人ホーム心理相談員、神経内科**クリニック心理士**
- モットー：現場に近づき、**現場に近い目線**から取材・執筆する

## 超高齢社会で[注目されている]課題

- 社会保障費の増大
- 医療資源、介護資源不足
- 介護職不足
- 認知症を持つ人の増加
- 家族機能、地域力の低下
- 介護離職、介護うつ
- 高齢者の孤立

介護費は、  
GDPの  
倍のペースで  
増加する

団塊の世代が全員後期高齢者になる  
2025年には、介護費は2.3倍、医療費  
は1.5倍になると推計されている



出典：厚生労働省「社会保障に係る費用の将来推計の改定について（24年3月）」

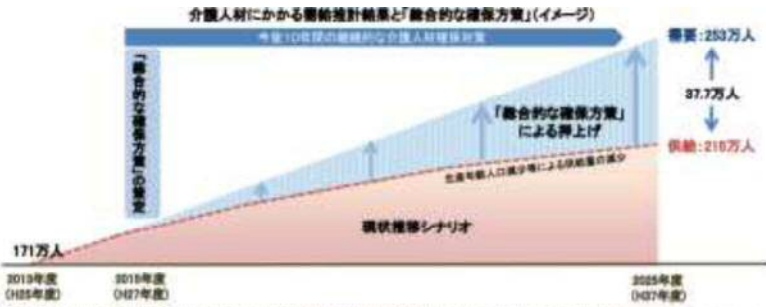
# 8年後、 介護職員は 約38万人不足

2025年には、介護職員が約38万人不足すると推計されている

介護職員の推移と見通し

	平成24年度 (2012年度)	平成24年度 (2012年度) (推計値)	平成25年度 (2013年度) (推計値)	平成27年度 (2015年度) (推計値)
介護職員	55万人	149万人	167~176万人 <sup>(注)</sup> (164~172万人)	237~249万人 <sup>(注)</sup> (218~226万人)

注) 平成24年度・平成25年度の推計は社会保険庁・厚生労働省におけるサービス提供体制改革を前提とした改革シナリオによる。(注)内は関係するほかの事業による追加の増員シナリオによる推計。  
2015年、2025年の推計値に概平あるいは、事業数比率の変動を考慮していることによるもの。  
【出典】厚生労働省「介護サービス提供体制改革」(「介護・介護に携わる者数推計(平成24年度)」)



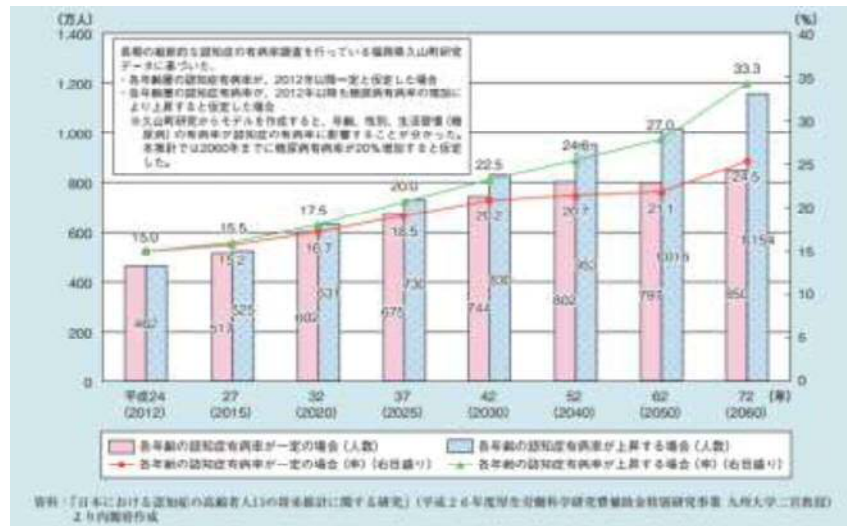
注1) 需要員5人(約25万人)については、本資料より第4期介護職員数推計値に反映されたサービス提供体制改革に基づき推計  
注2) 供給見込み167万人については、現状推測シナリオ近年の人口・年齢構成の動向に将来の生産年齢人口の減少等の人口動態を反映した推計(平成27年度以降に追加的・取組と新たな推測の必要はない)より  
注3) 「介護・介護に携わる者数推計(平成24年度)」における2025年の介護職員の需要数は237万人(社会保険庁・厚生労働省におけるサービス提供体制改革を前提とした改革シナリオ)による。概算をその前提条件に用いた現状推測シナリオによる2025年の供給は210万人(人口動態に概平)である。若年世帯比率の増加を考慮していることによるもの。尚推計及び上記の推計結果のいずれの値にも過剰リソースシナリオの介護職員数は含まれていない。

出典:厚生労働省 2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)

# 8年後、 65歳以上の 5人に1人は 認知症を持つ

誰もが、身内や友人・知人に認知症を持つ人がいる時代に。認知症は、より身近な疾患となっていく

65歳以上の認知症患者の推定者と推定有病率

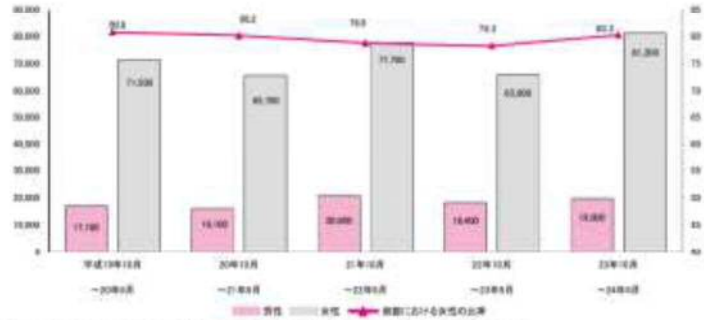


出典:平成29年版高齢社会白書

## 介護離職者、 8割が女性だが 男性も増加中

支援を求めない、求められない息子  
+ 母親の密室介護も少なくない

男女別介護離職者数と女性の介護離職の割合  
(単位：左軸は人数、右軸は%)



資料出所：総務省「就業構造基本調査（平成24年）」から作成

出典：労働政策研究・研修機構「ビジネス・レーパー・トレンド2015年10月号」

## 自宅で亡くなる 1人暮らしの 高齢者は 増加中

死亡後、相当期間経過後に発見されたケースは、65歳以上が7割強（平成27年度）

東京23区内における一人暮らしで65歳以上の人の自宅での死亡者数



資料：東京都福祉保健局東京都監察医務院「東京都23区内における一人暮らしの者の死亡者数の推移」

出典：平成29年版高齢社会白書

## [注目されている]課題の解決策は...

- 社会保障費の増大 → 消費税増税？
- 医療資源、介護資源不足 → 高齢者の地方移住？
- 介護職不足 → 外国人介護士受け入れ？
- 認知症を持つ人の増加 → 早期診断・早期対応？
- 家族機能、地域力の低下
- 介護離職、介護うつ
- 高齢者の孤立

⋮

## [注目されている]課題の解決策は...

- 社会保障費の増大
- 医療資源、介護資源不足
- 介護職不足
- 認知症を持つ人の増加
- 家族機能、地域力の低下
- 介護離職、介護うつ
- 高齢者の孤立



地域**包括ケア**システムの構築？

## その前に[注目すべき]課題

- 課題を抽出する地域の範囲が**広すぎる**  
→ 同じ市町村でもエリアごとに地域課題は違う
- 地域課題が把握されていない、**共有されていない**  
→ 一部の住民、事業者等にしか危機感がない
- 行政、事業者、住民の活動に**連動性がない**  
→ よい活動があっても効果的に機能しにくい
- すでにある住民の活動を**発見**できていない  
→ 「参加を促す」「巻き込む」より前に「見つけ出す」

## 地域づくりが うまくいかない**原因**

- 自分の地域が**持っている力、足りないもの**を把握できていない
- どんな地域にしたいか**イメージ**を共有できていない
- 成功例の**形だけ**をまねている
- 専門職が**主導的**に動きすぎる
- 短期間**で目に見える成果を求めすぎる

## 住民が輝く 地域づくりのあり方とは

---

1. 地域を知る・地域にある
2. 楽しい・うれしい・気持ちいいことをする
3. 後ろに控えて住民の活動を下支えする
4. それぞれの持つ潜在的な力を生かす

### 1. 地域を知る・地域にある

---

- 地域を知る： 和光市のニーズ調査
- 地域にある： 三重県名張市の「まちの保健室」



## 2. 楽しい・うれしい・ 気持ちいいことをする

---

- 東京都大田区  
「おおた高齢者見守りネットワーク・みま～も」
- 岡山県倉敷市  
「生活支援コーディネーター」
- 参考：神奈川県横須賀市  
「在宅療養連携会議」

## 3. 後ろに控えて 住民の活動を下支えする

---

- 神奈川県藤沢市  
「ぐるんとび一駒寄」
- 埼玉県幸手市  
「在宅医療連携拠点・菜のはな」
- 参考：福岡県北九州市  
「食育アドバイザー」

## 4. それぞれの持つ 潜在的な力を生かす

- 神奈川県藤沢市  
あおいけあ「おたがいさん」
- 愛媛県愛南町  
ハートinハートなんぐん市場「障害者就労継続支援」
- 千葉県香取市  
福祉楽団「自伐型林業・薪プロジェクト」

## 住民が輝く 地域づくりの視点

- 支える・支えられるだけでなく、仕事、役割の創出、地域の活性化など、より大きな視点が必要
- 高齢者だけでなく、障害を持つ人、子育て世代や、その地域で働く人々などもメリットが感じられる仕組みに
- 行政や専門職はリーダーではなく、“着火剤”“燃焼促進剤”“セーフティネット”に
- 地域にはすでに様々な活動があり、やる気のある住民がいる。地域を歩き、活動を見出し、生かすことを考える

## 結論

---

答えは**地域**にある。  
**住民**の中にある。

ご清聴ありがとうございました。